

動脈硬化

健診

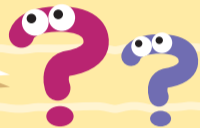


こんな方に Check!
お勧めします!

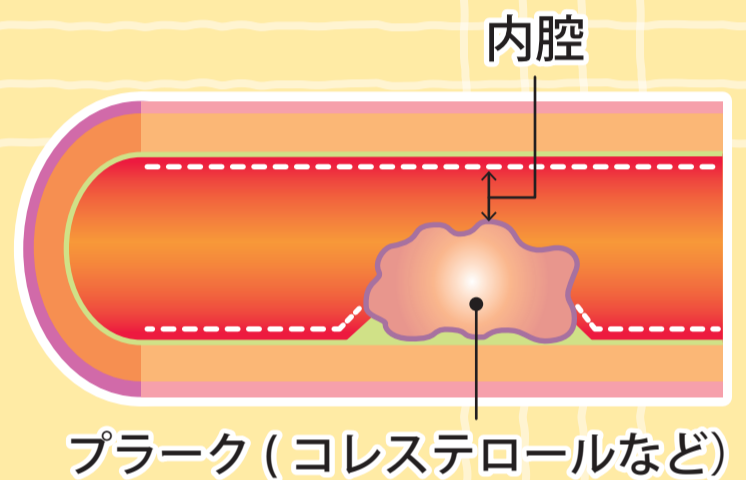
- 動脈硬化の予防や早期発見に関心のある方
- 脂質異常やメタボリック症候群を指摘された方
- 高血圧、心臓病、糖尿病、脳梗塞などの治療中の方
- 歩行時に足の痛みや冷感、しびれなどを感じる方

動脈硬化は脳梗塞や心筋梗塞、そして PAD 末梢動脈疾患などの原因となります。動脈硬化の検査はこれらの早期発見に役立ちます。この動脈硬化の検査を専門的に行うのが「動脈硬化健診」です。エコー・血圧脈波検査・腹部 CT・血液検査などで全身の動脈硬化の評価を行い、患者さんの状態に応じた最適な治療に繋がります。

動脈硬化とは？



血管壁が硬くなるだけでなく、血管の内側にも汚れ（プラーク）がこびりついて血行が悪くなり、血液が詰まりやすくなる状態です。高血圧や脂質異常症などが原因で起こり、脳梗塞や心筋梗塞の原因になる恐ろしい病気です。『人は血管とともに老いる』と言われます。血管を若々しく保つことが大切です。



詳しい検査内容

血圧脈波検査 (CAVI)

両腕と足首に同時に血圧計を巻いて血液の流れを調べる検査です。5分くらいで出来ます。足の動脈硬化と詰まり具合をみます。足の動脈硬化が進むと足の血管が詰まる閉塞性動脈硬化症がおきます。



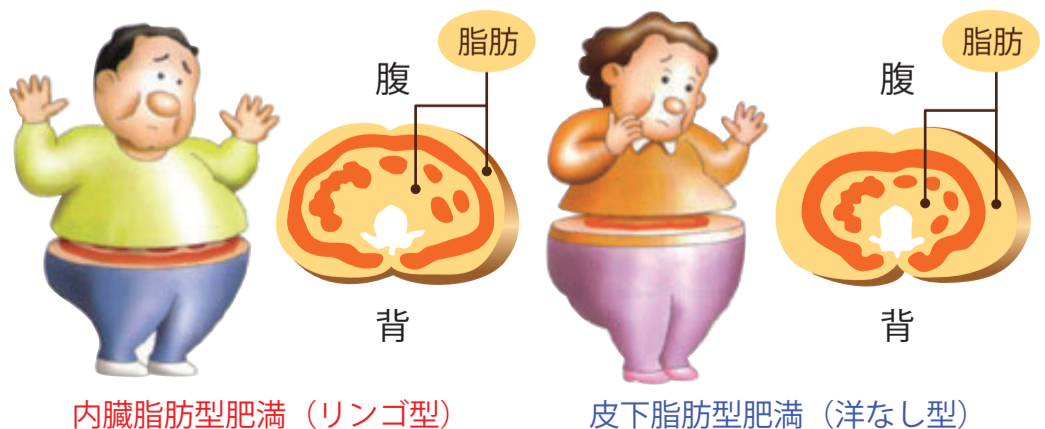
頸動脈エコー検査

首の両側にあるドキンドキンとしているのが頸動脈です。ここに、携帯電話くらいの大きさの機械を当てて、血管の断面をみます。身体に害のない痛くない検査です。20分くらいでできる検査でいつも通りに食事をしてきて受けられます。頸動脈から分かれる内頸動脈は脳に栄養や酸素を運ぶ大切な血管です。



内臓脂肪測定 (腹部 CT)

CT では皮下脂肪、内臓脂肪の量を直接測定することができ、面積で 100cm²以上になるとメタボリック・シンドロームの発症の引き金になるといわれます。正確に内臓脂肪を測るには、CT による方法が優れているのです。肥満は高血圧・高脂血症・糖尿病などを引き起こす原因になります。また、肥満の中でも内臓脂肪型肥満はとても危険です。早期の予防・対策を行うために、内臓脂肪の測定は極めて重要となっております。



内臓脂肪型肥満 (リンゴ型)

皮下脂肪型肥満 (洋なし型)